

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年6月29日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	フィルム工場におけるボイラーの更新 (A重油 → A重油・天然ガス)
承認番号	KC1319
排出削減事業者名	フジコピアン株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名: 該当なし)
事業実施場所	フジコピアン株式会社 岡山工場 (住所: 〒709-4321 岡山県勝田郡勝央町大平台12番地)
事業の概要	工場で使用しているボイラーを高効率の機種へ更新するとともに、一部を重油からガスへの燃料転換にすることにより、二酸化炭素排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012年度: 268 tCO ₂ 2013年度: 1,694 tCO ₂ 2014年度: 1,610 tCO ₂ 2015年度: 1,610 tCO ₂ 2016年度: 1,610 tCO ₂ 2017年度: 1,610 tCO ₂ 2018年度: 1,610 tCO ₂ 2019年度: 1,610 tCO ₂ 2020年度: 1,340 tCO ₂ (事業実施期間合計 12,962 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2013年1月31日 終了日 2018年1月30日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2018年1月30日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	4,131 tCO ₂ (2015年4月1日～2018年1月30日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 3回目のため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新後蒸気ボイラーは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における個別メーターの記録・LNG供給会社からの請求書等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 関係者への聞き取り、ガスボイラーへのガス使用量が記載されているLNG供給会社からの請求書、A重油使用量ログを残したボイラー月報の確認により、方法論及び承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 A重油使用量は個別メーターの記録を集計すること、LNG使用量は燃料供給会社からの請求書記載の使用量から気化器の使用量を差し引くことにより適切に把握していることを確認した。その記録結果については、実績報告書に正確に反映されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認

	<p>関係者への聞き取り及びJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.1等により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果をガス会社からの請求データとの突合、精度管理されていないA重油流量計の読み取り値からの保守的な推計方法の確認、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は2015年4月1日から2018年1月30日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年1月30日を超えないこと確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算344.2 kL、熱量換算13,341.3 GJであることを確認した。

以上